

第1学年 技術・家庭科（技術分野） 学習の指針（シラバス）

1. 学習の目的（教科の目標）

(1)ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

(2)材料に適した加工方法を知るとともに、工具や機器を適切にかつ安全に使用し、作品の部品加工、組み立て及び仕上げを行うことができる。※1学年の目標

(3)木製品の製作を通し、身の回りにある木製品の機能や構造を知り、生活を豊かにすることを考えることができる。また、情報機器の使用方法の理解、情報機器を活用し、まとめることができる。※1学年の目標

2. 学習計画

学習項目	学習のねらい
・ものづくりの視点と進め方	・目的や利用する方法、環境などをふまえることを知る。
・材料	・様々な材料の特徴を知り、適切なものを選ぶことを知る。
・設計	・図面を用いて、設計することができる。 ・図面を正確にかくことができる。
・実習（木材による製作） （導入題材と主題材を予定）	・道具を正しく使用できる。 ・けがきや切断が正確にできる。 ・部品加工を行うことができる。 ・作品を正確に組み立てられる。 ・組み立てた作品を検査し、修正することができる。
・材料と加工の 技術の評価・活用	・製作の工夫や、できたところ工夫したところを説明できる。
・情報機器の活用、情報モラル	・製作の過程やまとめにおいて、適切に情報機器を活用し、レポート等をまとめることができる。 ・情報機器を使用する上での注意すべきことなどを理解する。

3. 評価

観点項目	評価の方法
知識・技能	・提出物(チェックシート・ファイル・ワーク)・定期テスト ・実技テスト・確認(製作過程において)
思考・判断・表現	・実習・作品・レポート・ワークシート・定期テスト・学習の記録
主体的に学習に取り組む態度	・授業への取り組み(作品・ふりかえり・定期テスト) ・提出物(チェックシート)・学習の記録

4. 「確かな学力」のためのアドバイス

技術分野は、技術という方法・手段を学ぶとともに、自身の能力である技能を伸ばしていく教科です。様々な技術を通して自身の技能を高められるように授業や課題に全力で取り組んでください。その中で様々な困難に直面すると思います。そうしたことを解決するために努力する中で自分の課題解決能力を高めていき、確かな学力を身につけていってほしいと思います。また、週1回の授業に集中して取り組んでください。